

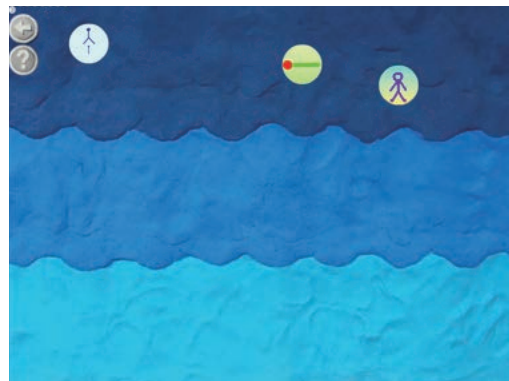


ワークショップ進行手順 ▶ 動きのデッサン

① 動きの練習1

1 ページ一覧の画面

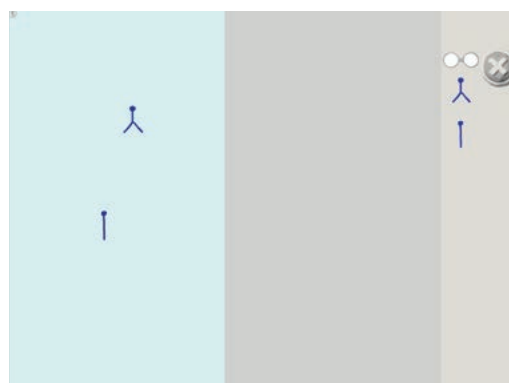
- 1ページ目：人が歩くのページ
- 2ページ目：しゃくとり虫のページ
- 3ページ目：棒人間のダンスのページ



2 動きの練習「人が歩く」のページ画面

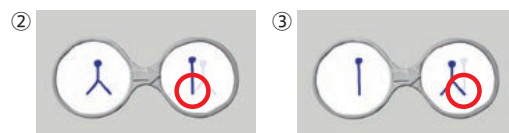
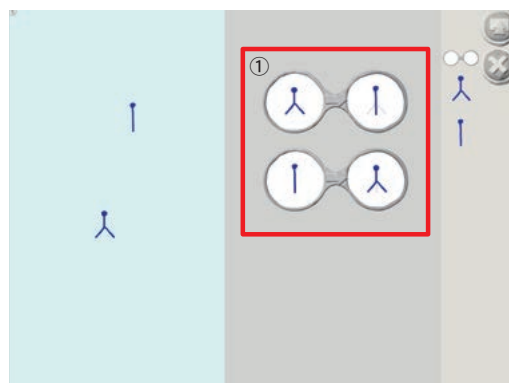


3 2種類の棒人間をステージに入れる。

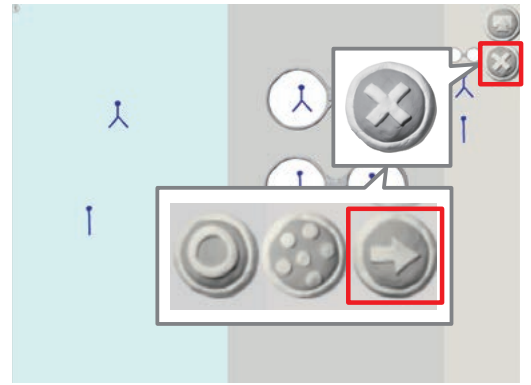


4 めがねを2つ使って棒人間を歩かせる。

体を揃えると、足を閉じたり開いたりするだけで歩かない。(図①)
歩いて見えるようにするには、地面にくっついていてる方の足は動かさないようにめがねをつくる。(図②・③)

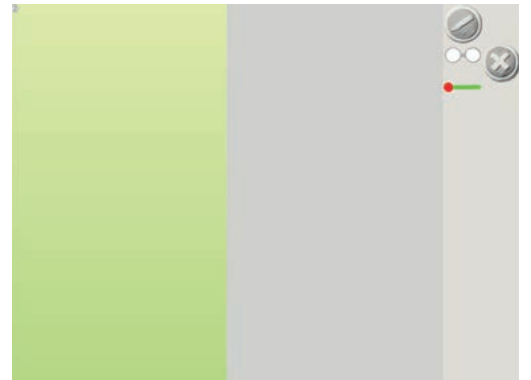


5 次のページへ。



② 動きの練習2

6 動きの練習「しゃくとり虫」のページ画面

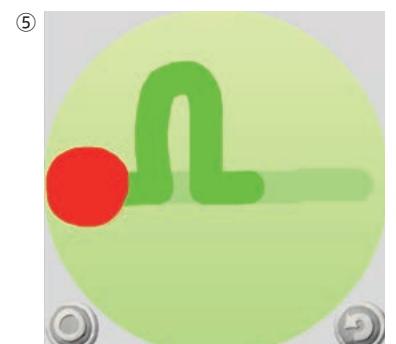
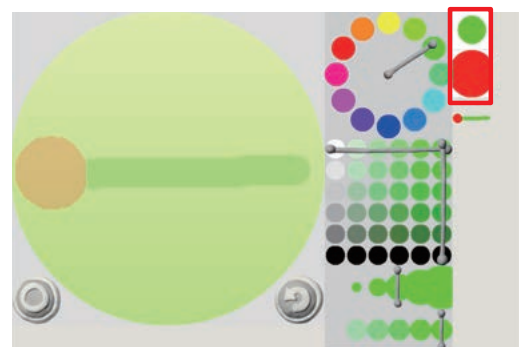
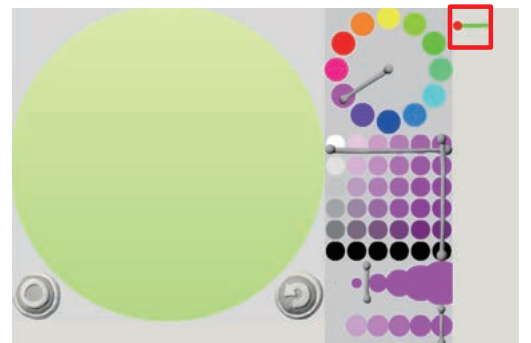


7 縮んだしゃくとり虫を描く。

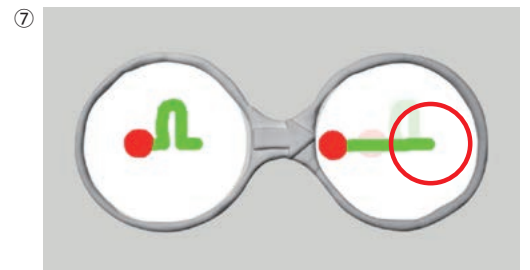
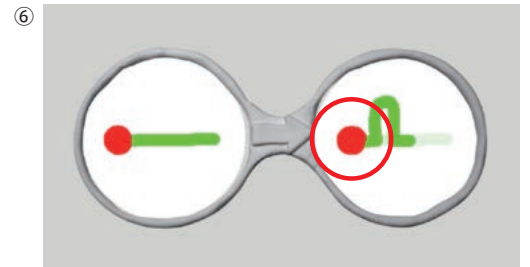
〈下絵を元に描く方法〉

お絵描き画面の右にある伸びたしゃくとり虫をタッチすると、下絵が薄く出てくる。右上には伸びたしゃくとり虫を描いたときに使ったペンと、同じ太さ・色のペン(図④)が出てくるので、それを使う。

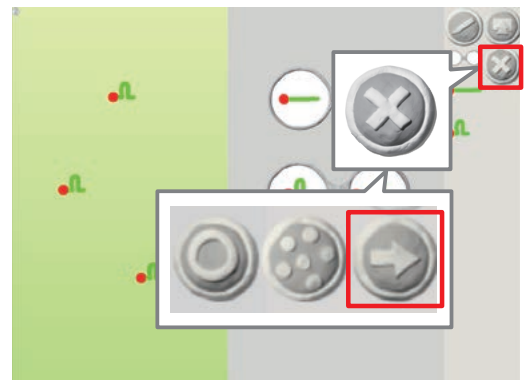
縮んだしゃくとり虫は、頭は同じ位置だけど体の先は短くなるように描くのがポイント。(図⑤)



- 8 シャクとり虫を歩かせるめがねをつくる。
人が歩くめがねと同様に、合わせる場所が大切。伸びた虫が縮むときは頭を合わせる。(図⑥) 縮んだ虫が伸びるときは体の先を合わせる。(図⑦)

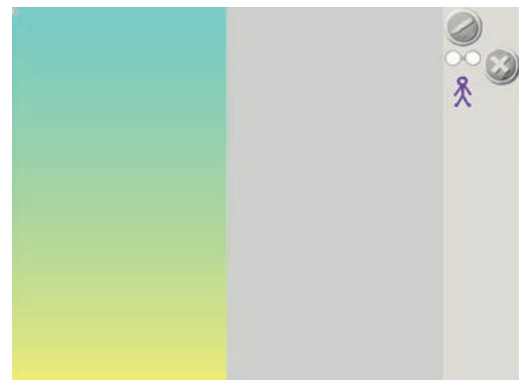


- 9 次のページへ。

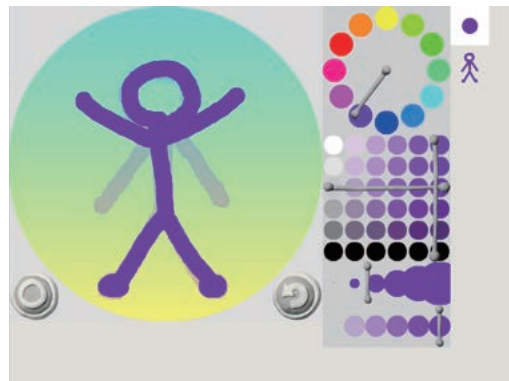


③ 棒人間のダンス (ビスケットランド)

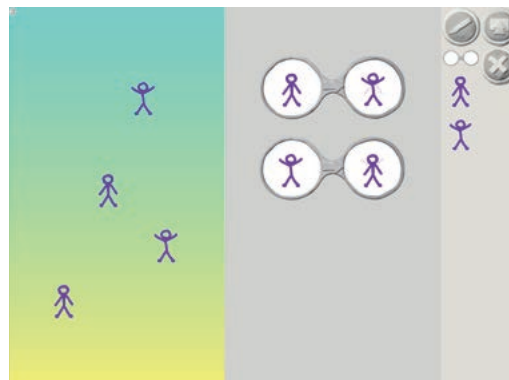
- 10 棒人間のダンスのページ画面



- 11 もともとある棒人間を下絵にして、違うポーズの棒人間を描く。



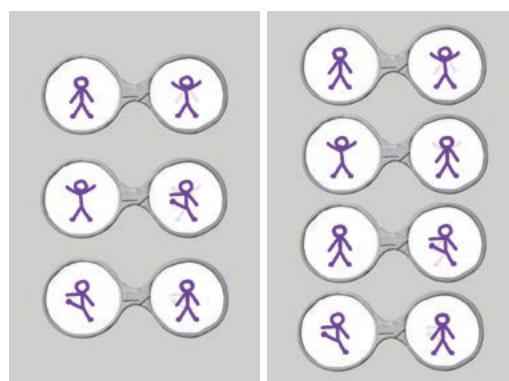
- 12 2つのポーズをつかって、棒人間が踊るようにめがねをつくる。



- 13 別のポーズの絵を描いて、3つのポーズで踊るめがねをつくる。
順番にポーズが変わっていくものだけではなく、いろいろな方法があるので、たくさん試す。

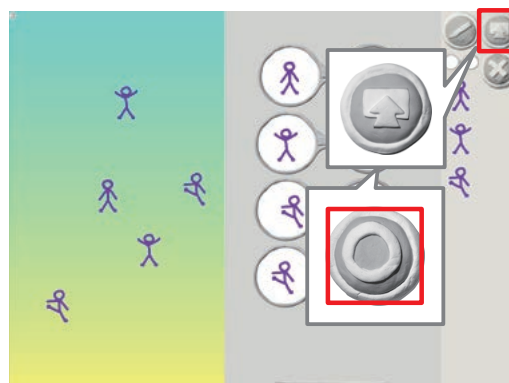
〈途中で動きが止まったら〉

めがねを新しく追加して、止まった絵をめがねの左側にいれて、別のポーズに変わるようにする。



- 14 自由制作

ポーズを増やしたり、足をあげたら横に動くなど、自由に作る。
できたら、右上の[送る]ボタンを押して、[○]を押す。



- 15 ビスケットランド(棒人間のダンス)鑑賞

プロジェクタやテレビ画面などを使用し、ランド画面を大きく表示させて、みんなで鑑賞。

